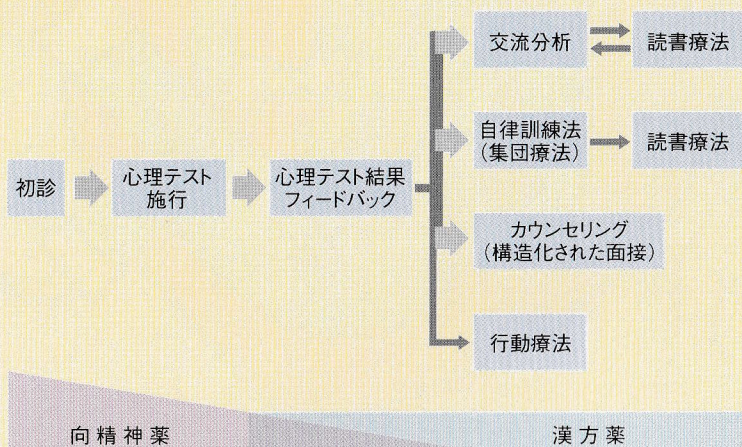


ストレス関連疾患と漢方

心身医学的配慮が必要な疾患

ストレス関連疾患は、内科領域にとどまらず、外科・産婦人科から歯科・口腔外科領域まで多岐にわたります。これらすべての疾患が心因を第一原因としているわけではありませんが、治療には心身医学的配慮が必要です。中部労災病院心療内科では、ストレス関連疾患に対して薬物療法や心身医学療法を総合的に組み合わせながら治療に取り組んでいます。

ストレス関連疾患に対する治療構造 (中部労災病院心療内科)



漢方薬による 向精神薬の離脱・減量

心療内科の臨床では、ベンゾジアゼピン系を中心とする抗不安薬や抗うつ薬の使用が一般的です。しかし、これらの薬剤は長期間にわたる継続投与によって薬物依存という問題を生じることがあります。また、患者さんも長期間の服薬を望まないことが多く、向精神薬の離脱や減量が治療のポイントになると考えています。そこで、当科ではストレス関連疾患の治療において、向精神薬の離脱・減量を図るために積極的に漢方薬を併用しています。漢方薬は副作用も少なく、長期投与による薬物依存性の問題もないことから、向精神薬に抵抗感を持つ患者さんでも好んで服薬するという利点があります。

